

建設水道常任委員会記録

令和2年11月20日(金)午後1時15分～午後3時43分(9階 908 会議室)

○出席委員(8名)

委員長	梅津 一匡
副委員長	根本 雅昭
委員	丹治 誠
委員	石原 洋三郎
委員	小熊 省三
委員	黒沢 仁
委員	渡辺 敏彦
委員	真田 広志

○欠席委員(なし)

○案 件

所管事務調査「仮置場の原状復旧状況についての現地調査」

- 1 現地調査
- 2 現地調査の意見開陳
- 3 その他

午後1時15分 開 議

(梅津一匡委員長) ただいまから建設水道常任委員会を開会します。

仮置場の原状復旧状況についての現地調査を議題といたします。

それでは、早速ですが、お手元に配付の調査日程に基づき、現地調査へ向かいたいと思います。

それでは、現地調査実施のため、委員会を暫時休憩いたします。

午後1時16分 休 憩

午後3時27分 再 開

(梅津一匡委員長) 委員会を再開いたします。

それでは、本日の現地調査について意見の開陳を行います。

本日視察した内容及び聴取した説明に関して、ご意見のある方はお述べください。

(渡辺敏彦委員) 仮置き場につきましては、地元以外初めて見たのですが、大波については前の農村広場より大分きれいになったなという思いがあって、一番最初にできたということで、一番最初片づ

けて、Lコンも使ったけど壊してしまって、もったいなかったなどは思いました。あと東部支所に寄ったらば、東部支所の裏に埋めてたやつがあったのだから、トンパックで。それを出して、大波に持っていったのかなと思ったら、何か安洞院の仮置き場か常円寺の仮置き場へ持っていったというのだ。だから変だなと思ったの。その辺ちょっと確認していただければなど。早めにやっぱり片づけてほしい。特に常円寺なんて残っているとすれば、役所でやる前から自分でやっていたでしょう。勝手にやっていたけれども、認知して地元まで入れていたでしょう。だったら、あれ早めに持っていかないと騒ぎがいつまでも続くのか心配をしてる。北信地区については、やっぱり遮蔽土、どこでもあるというのだけれども、いつまでもああやって置くのもなじまないなと思ったのです。だから、並行して片づけられるような段取りできなかったのかなと。これからも遮蔽土、平成30年以降はやらないと言ったのだから。それまではやっていたと言ったでしょう。そういうことで、遮蔽土ですと囲むとかというのは、出しているのだけれども、それどうなっているのか。並行して片づけてしまったほうが早く地権者にきちっとした形で返せるのかなと思いました。あと多分ほかの仮置き場も、特に前にも質問したことあるのだけれども、渡利辺りか。あそこの仮置き場だって、山ずっとならして造っていたでしょう。質問して、どうするのだと言ったらば、木植えて山に戻すのだと言っているの。せっかく億の金かけて、何か利用できるのだったら、地域の方々なり地権者の意向、それは森林組合なのかな。意向を聞きながら有効な使い方ができればいいのかなって、総体的には。たまたま今日は北信と大波だけ見たということで、本当は別なところでもよかったのだから、仮置き場についてはそういう思いをして見てまいりました。

以上。

(黒沢 仁委員) 今原状復帰というようなことで、当初仮置き場を建設するとき、いろんなもの地区住民の皆様方と話し合いを持たれて、建設に向けて地元住民の皆様のご理解を取ることとはもとより、あとその後やっぱりどうしたらいいのだという部分もある程度視野に入れながら話し合いを進めてきたというような経緯をちょっと伺った中においては、先ほど渡辺委員が言った山とか何かという部分も、建設する当初いろんな人の意見を聞きながら進めていたというような部分は、やっぱりこれは原状回復する上においては効果的な手法だったのかなという思いがあります。そして、まずはこの原状復帰というような部分でも、現場は確かにそうやってやっている。ただ、その地域から今回の災害においては土ばかりでなくていろんなもの、逆にここ犠牲になったところだから、もうちょっと何かして返してくれないかというような話も多分出ていたと思います。特に農村広場なんかは、原発事故以前はあまり使用回数がなかったのだかも分からないけれども、今後ああいうふうなきれいな形になればいろんなイベントとか何かで利用されるというようなことで、お話聞いていたのは照明、街灯をつけてほしいとか何か、これはまるっきり原状復帰とは違うのだけれども、そういったやっぱり地区民の要望というような部分も、ある意味では国のほうで面倒見てもらえれば本当はよかったのかなという思いがあります。

あとは、さっき言った遮蔽土の問題、これは遮蔽土を埋め戻しに別な地区に持って行って処理していくのだというような方法もあるかも知れないけれども、おっしゃるとおり原状回復をしていくという、元の姿に早く戻すことによって復旧が進んだなというようなイメージがありますから、その辺はもうちょっとピッチを上げるような手法、あそこの遮蔽土なのだから、もしあそこで処理できれば、あそこで処理する方法なんかも今後検討していく必要性はあるのかなというふうな思いです。

以上。

(**小熊省三委員**) まず1つは、北信のところで言えば、よくああいう土地、そんなこと言うと話が戻ってしまうかもしれないけれども、よくああいうところを見つけたなという思いがありました。

あと黒沢委員のほうから遮蔽土の問題が出ていましたけれども、ほかのところがどういう利用をしているのかとか、埋め戻しの問題があるので、現場でそれは片づけられればいいかもしれないけれども、なかなか難しいところがあるのかなという思いがちょっとありました。

今回見たところではないけれども、渡利の話が出たから一言言わせてもらおうと、急傾斜地を削ってやったのですよね。それで、この前の除染対策委員会のところの中では、いわゆる洪水なんかにならないように、今よりももうちょっと変えなければいけないみたいなどころは言っていたのだけれども、かなり急勾配だったりしているのね。だから、その辺のところどういうふうにするのだということでは、まだそこは除染対策委員会の中でははっきりは言わないで、原状復帰に……

【「北信」と呼ぶ者あり】

(**小熊省三委員**) 北信でなくて渡利の。急なのだ。それで、そこをもとにそういうふうに災害が起こらないような対策を講じながらやっていくみたいな話にはなっているのだけれども、だからそういうところではまだまだちょっと確認しなければいけないという思いがありました。

あとできれば本当にそういう意味では大波のところはきれいになったわけですけども、北信のところはどんなふうこれから、休耕地だったということだけれども、畑ができるように、ちょっとそこはちゃんとしてもらわなければいけないかなという思いはありました。

以上です。

(**丹治 誠委員**) まず、渡辺委員も言っていたL型擁壁ですけども、私もちょっともったいないかななんて思いました。壊すより運送のほうがお金がかかるということがあるとはいえ、あれだけ立派なものなので、どこかで使う手だてはなかったのかな、そういった思いはあります。

それから、北信地区の仮置き場を畑に一部戻すという話で、使うかどうかは別として、今後仮置き場、畑なりなんなりに戻すということがあると思うのです。そのときに、先ほどの話だと技術的に確立されていないみたいな話もあったので、これはしっかり研究して、畑に戻すのであればしっかり戻れるような技術というのを確立していかなければなというふうに思いました。

以上です。

(**石原洋三郎委員**) 大震災と原発事故から丸10年近くたつわけなのですけども、この大変な状況の

中で仮置き場を地域の皆さんのご協力とか行政のお力添えで確保いたしまして、本当に様々な苦労とか困難とかあったかと思うのですけれども、ようやく中間貯蔵施設のほうに除去土壌を運んで、原状復帰のめどが立ってきているということで、もろもろの活動に本当に感謝をするところであります。そういう中で、今日見させていただいたのですけれども、農村広場も本当にきれいに使えるような状況になっていて、数値も0.06マイクロシーベルトぐらいだったので、今後市民の皆さんが安全安心に使えるようになっていければなと思うところであります。

また、北信地区に関しましても、畑のほうに戻すということで、ご協力いただいた地権者の方とかのご意向に沿いながら行政としてもやっていくということなので、最後まで地権者の方も納得するような形で取り組んでいただければと思います。

ただ、あと橋ですか、橋に関しては仮の橋ということで、撤去されるということで、入り口が片方しかないということではあったのですけれども、八反田川ですと洪水とか土砂災害とかもいろいろ心配されるところでもありますので、そういうところを留意しながら復旧に向かって安全第一に取り組んでいただければなと思うところであります。本当に最後の最後まで、10年たってようやくここまで来たのだと思うところであります、最後の最後まで全力で取り組んでいただければと思います。

以上です。

(真田広志委員) 本当に皆さんがおっしゃったとおりだと思います。国も当初は原状回復の在り方というのは非常にこだわってまして、元ある形に戻しなさいということをかたくなに言い続けてきたのだけれども、今回ある程度地権者の意向なんかも聞きながら進めているということで、一定の評価をするところであります。

それから、北信、遮蔽土の在り方というか、回復の在り方、もう少し効率的に行うべきだよなという感じがします。基本的に国からお金が出るから、多少時間がかかってもいいやというふうに地権者のほうもひよっとしたら思っているのかもしれないのだけれども、やっぱりあの場所なんかも考えて、新幹線からも見える、また阿武隈急行、阿武急からも普通に見下ろせるような場所ですので、一番早い真の復興というものをアピールする上では、やはり一番早くあいつたものを取り除いて、真の復興というものをしっかりアピールしていく必要性あるなというのを感じたところです。

取りあえずは以上であります。

(根本雅昭委員) 今回市有地、民有地と、あとは返還済みのところとまだ途中のところと見てきたわけなのですけれども、大波のところは今まで活用されていたところ返還をして、またこれから市民の皆さんが活用、利用される場所ですので、今まで以上に活用されるようにしっかり広報も必要かなというふうに思いました。

また、所管外になるのかもしれませんが、原状復帰して、この状態でずっとではなくて、必要に応じて改修なんかもこれから出てくると思いますので、そういうところも時代、時代に合わせたアップグレードも出てくるのかなというふうに思いました。これで終わりではなくて、所管外で返還

先になるのだと思いますけれども、市民の、地元の方の声を聞いて、市の施設等しっかり利用していただけたらなと感じました。

また、北信は、今まで出ているとおりですけれども、やはり畑ということで、地元の地権者の方の意見をしっかりと聞いて、安全に利用できるように、食べ物もしっかりと市民の皆さん、県内外に届けられるように、利用できるように、一日も早くしっかりと回復していただけたらというふうに感じました。

以上です。

(梅津一匡委員長) 皆さんから出た意見をある程度総体的に考えますと、復旧復興、原状の復旧の在り方についてということで多くの委員の皆さんから出たのは、もう少しスピードアップができるような手法をちゃんと考えてやったほうがいいのではないかと、まず1点あったかと思えます。そして、あとは有効活用する方向というのも今後いろいろ地域の方や地権者の方と話し合いながら有意義な形で利用できればなというようなお話も多く出たかと思えます。そういったことを含めまして、これからも我々ちゃんと見ていかなければいけないかなと、継続的に見ていかなければいけないかなというふうに思っております。やっと物がなくなる、そして原状に復旧をさせるというところで、やっと我々スタートラインに立つというような思いがあるのかなというふうに感じたところでした。これからうちの所管でありますので、また所管外になる部分も、根本委員からもありましたけれども、しっかりと議会活動の中で発言していきなり、反映していきなりということをやっていただければと思ひまして、委員長からのまとめとさせていただきたいと思ひます。

このほか何かこれだけ、言い忘れたというようなご意見あれば出していただければと思ひますけれども、よろしいですか。いいですか。

【「なし」と呼ぶ者あり】

(梅津一匡委員長) では、以上で現地調査の意見開陳を終了いたします。

次に、その他を議題といたします。

委員の皆様から何かございますか。ございませんか。

【「なし」と呼ぶ者あり】

(梅津一匡委員長) なければ、以上で建設水道常任委員会を閉会いたします。

午後3時43分 散 会

建設水道常任委員長

梅 津 一 匡